



基礎から教えるマイホーム

絶対得する業界の常識

〜T様邸建築 取材VOL.3〜



今回で3回目のT様邸の建築取材となります。
前回では、基礎工事完了までお届けしました。現在は上棟まで完了しており、特に1階部分の鉄骨造の工事について、ご紹介したいと思います。

■鉄骨造について

おそらくとなりますが、T様邸は1階部分が「鉄骨造」、2階部分が「木造」と特殊な設計となっているのは、これまでの取材でもお話ししてきました。

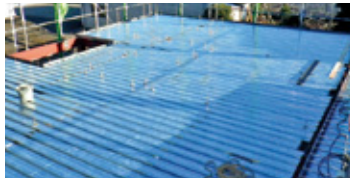
「鉄骨造」のメリットとして、木造よりも柱の本数が大きく減少しますので、大きな空間が確保でき、設計の自由度が高くなります。そして敷地を最大限有効に使えます。

T様のように、1階部分を車庫・倉庫で大きな空間が必要な場合は、「鉄骨造」はそのライフスタイルを叶える極めて有効な手法と言えます。

木造よりも耐震性が優れていることや、「2x4工法」など違い、将来のリフォームのしやすさもあり、長期間安全に暮らせる住宅として、とても良い工法です。



▲重量鉄骨を用いた「ラーメン工法」横の鉄骨の間に接合部分があると思いますが、これがラーメン工法の特長の1つで、最大限に剛性を高めます。



▲デッキと呼ばれるもので、これにより壁の代わりに剛性を高める役目もあります。壁がないことで、空間利用が自在にできるのです。



▲デッキの上にさらにコンクリートを敷き詰めます。基礎同様、この作業も職人さんの手で丁寧に仕上げます。



▲コンクリートの上に断熱材を敷き詰めた床を設置、ここから木造工事がはじまります。

費用は木造よりも高価となり、また、地盤の状態によっては、杭工事が必要となり、多くの費用が掛かることがありますので、そのあたりは注意が必要となります。

■鉄骨造の主な工法について

鉄骨造の工法として、「軽量鉄骨造」と「重量鉄骨造」があります。「軽量鉄骨造」は、木材の代わりに薄い鉄の板を用いて、木造に近い構造での建築となります。

「重量鉄骨造」は、文字通り重量鉄骨を使い、柱と梁を剛接合したラーメン工法を用いて躯体を作ります。軽量鉄骨造と比較し、比べものにならない高い強度を発揮します。

T様邸は、後者の重量鉄骨造を採用しています。

■どこでもできる工事なのか。
1階鉄骨造、2階木造というT様邸ですが、こういう特殊な工事はどこでもできる工事なのでしょうか。

たとえば、ハウスメーカーですと、得意分野がパツ



▲上棟の様子

ケージ化された商品ですので、基本このような工事は不得手と思っていでしょう。

施主様がそのような要望をしたとしても、他の案をすすめたり、仮に受けても、鉄骨工事ができる業者へ丸投げするケースもあり、マーシンを載せた無駄に高い見積もりが出てくるかもしれません。

このような工事は、日頃から木造と鉄骨造の、どちらの工事も行っている工務店を建築会社の候補にし、見積もりなどをとったほうがいいと思います。当然、湯浅建設さんはどちらの工事も得意としている建設会社です。

重量鉄骨工事というのは、主にビル工事などで用いる方法で、このように一般の住宅で用いるのは、今までは稀なケースでもありましたが、2011年の東日本大震災の経験を踏まえ、世間の耐震・耐久の認識が高まり、最近では需要が増えてきたそうです。湯浅建設さんにもT様邸の他にも鉄骨造の相談が数件あるそうです。

とはいえ、文中にも記載したように、誰でもできる工事ではありません。

日頃から個人のお客様から法人、官公庁の鉄骨造工事など十分に実績のある湯浅建設さんのような、建設会社を選ぶことが重要だと思いました。

【取材協力】株式会社湯浅建設 湯浅健司社長

完全注文住宅建築事例

地域に根差した総合建設業を目指して創業60年

一貫誠実

株式会社湯浅建設

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号 / 千葉県知事許可(特-22)第1298号

湯浅建設 検索

月刊ハロー！取材記事のバックナンバーも掲載中！

お見積もり無料！
お気軽にお問い合わせ下さい！

TEL.047-387-2281 (代表)

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25
http://www.yuasakensetu.co.jp/

リフォーム事例

Before
After

CONSTRUCTION